

VI 環境を考える

1 環境学習・環境啓発

現在の環境問題は、生産や流通などの活動が原因とされる産業型公害に加え、地球温暖化などに見られるように市民の日常生活も原因となっています。したがって、私たち一人ひとりが環境に対する理解を深め、生活の中で取り組んでいくことが重要となります。市では、環境学習講座を修了された方々と意見交換を行いながら、環境学習講座を実施しています。

(1) 環境学習

府中かんきょう塾2023

平成13年にエコ・リーダー養成講座としてスタートしました。現在では府中かんきょう塾として、講座修了生による企画・運営で進められています。令和5年度は全7回の連続講座、親子かんきょう塾を6回実施しました。講座等参加者数：延べ310人

全7回の連続講座

回	日 時 参加人数	講座名	内 容	講 師	会場等
1	5月20日(土) 13:00～15:00 19人	開講式、 座学講座	開講式 講座「環境活動を のぞいてみよう」	東京農工大学教授 朝岡 幸彦 氏	府中駅北第2庁 舎3階会議室
2	6月10日(土) 10:00～12:00 16人	施設見学	見学「植物多様性 センターに行ってみ よう」	施設専任ガイド 箱根 ゆみ子 氏	植物多様性セン ター(神代植物 公園内)
3	7月8日(土) 9:30～12:00 14人	自然調査体 験	自然調査体験「多 摩川の植物調査」	東京農工大学名誉教 授 藤井 義晴 氏	多摩川河川敷 他
4	9月13日(水) 9:00～14:00 22人	自然観察	自然観察「埼玉県 自然学習センタ ー」	施設自然学習指導員 チーフ 高野 徹 氏	埼玉県自然学 習センター(北 本自然観察公 園内)
5	10月21日(土) 14:00～16:00 28人	座学講座	講座「知っています か？あなたの周りに あるホルモンのよう なもの」	東京農工大学名誉教 授 渡辺 元 氏	東京農工大学
6	11月18日(土) 13:00～15:00 13人	座学講座	講座「緑の宝石： マングローブ保全 活動の魅力とITの 力」	元青年海外協力隊員 渡邊 雄一郎 氏	旧みどり幼稚園 2階会議室

7	12月9日(土) 13:00～15:30 19人	座学講座、 閉講式	講座「グラウンド ワーク三島による 市民主体の清流・ 源兵衛川再生もの がたり」	市民活動センタープラ ッツ 館長 林 丈雄 氏	府中駅北第2庁 舎3階会議室
---	--------------------------------	--------------	--	-------------------------------	-------------------

親子かんきょう塾

回	日 時 参加人数	講座名	内 容	講 師	会場等
1	6月24日(土) 10:00～12:00 52人	森キッズ DAY クラフト in 武蔵台	親子で木の実細 工、葉っぱプリント 作りなど体験する	武蔵台緑地保全ボラ ンティア、浅間山自然 保護会、かんきょう塾 ネット	武蔵台公園
2	8月21日(月) 8:30～15:30 39人	夏の親子か んきょう塾バ ス見学	日の出処分場、小 河内ダムを見学し 、環境保全・資源 循環について学ぶ	各施設担当者他	日の出処分場、 小河内ダム
3	10月28日(土) 10:00～12:00 30人	森キッズ DAY クラフト in 浅間山	親子で木の実細 工、葉っぱプリント 作りなど体験する	西武・武蔵野パートナ ーズ パークレンジャ ー他	都立浅間山公 園
4	12月2日(土) 10:00～12:00 13人	親子でエコ クッキング	自分たちで育てた 野菜を使いエコに 配慮した調理を体 験する	府中市立学校給食セ ンター 栄養士	府中市立学校 給食センター
5	2月17日(土) 10:00～12:00 11人	森キッズ DAY どんぐり de 森づくり	どんぐりから育てた 苗を浅間山に植樹 する	西武・武蔵野パートナ ーズ パークレンジャ ー他	都立浅間山公 園
6	3月2日(土) 9:45～15:00 36人	春の親子か んきょう塾バ ス見学	国立天文台、ガス ミュージアムを見学 し、宇宙やエネルギ ーについて学ぶ	各施設担当者他	国立天文台、ガ スミュージアム

(2) 市民ボランティア調査

市民の方々の協力により環境調査を実施することで、より多くの人が環境に興味を持つきっかけづくりの場を提供し、さらにはフィールドワークを通して市民ボランティアを育成しています。また、得られたデータは、市の環境施策に活用するための基礎データとして、記録しています。この調査は、地域の環境に根ざした環境調査プログラムとして、市内で環境活動を行っている「特定非営利活動法人 府中かんきょう市民の会」に委託し実施しています。

実施回数、参加人数は、調査項目により異なりますが、令和5年度は延回数で26回、延参加

人数は234人となりました。

(ア) 西府崖線生態系調査(昆虫・野鳥等)

昆虫等調査 調査結果は92ページ

調査日:令和5年5月28日、令和5年7月22日

調査場所:西府町1丁目(西府崖線付近一帯)

参加人数:延べ36名

調査内容:西府崖線付近一帯に生息する昆虫等の調査

野鳥調査 調査結果は93ページ

調査日:令和5年12月2日、令和6年1月13日 ※令和5年12月2日は巣箱の点検・清掃のみ

調査場所:西府町1丁目(西府崖線付近一帯)

参加人数:延べ16名

調査内容:西府崖線付近一帯に生息する野鳥の調査

● 西府崖線昆虫類調査結果 (調査概要は92ページ)

種類	令和5年度(5月28日)			令和5年度(7月22日)		
	番号	昆虫名	計	番号	昆虫名	計
蝶・ガ類	1	モンシロチョウ	5種	1	ヤマトシジミ	6種
	2	クロアゲハチョウ		2	ジャコウアゲハ♂♀	
	3	アサギマダラ		3	ナミアゲハ	
	4	ヤマトシジミ		4	アカボシゴマダラ	
	5	ミノムシ		5	ゴマダラチョウ	
				6	オオミズアオ(幼虫)	
甲虫類	1	テントウムシ(二星、四星、七星)	3種	1	カブトムシ♀	4種
				2	カナブン	
				3	クロカナブン	
				4	アオドウガネ	
ハチ類	1	キイロスズメバチ	4種	1	コガタスズメバチ	3種
	2	アシナガバチ		2	キアシナガバチ	
	3	ミツバチ		3	アリ類	
	4	クマバチ				
アブ・ハエ類	1	ハエ	3種	1	ハナアブ	3種
	2	キンバエ		2	ヤブカ	
	3	アメリカミズアブ		3	ハエ類	
セミ・カメムシ類	1	ガガンボ	2種	1	アブラゼミ	11種
	2	カメムシ		2	ミンミンゼミ	
				3	ニイニイゼミ	
				4	アオバハゴロモ	
				5	アミガサハゴロモ	
				6	ベッコウハゴロモ	
				7	アメンボ	
				8	ツマグロオオヨコバイ(幼虫)	
				9	キバラヘリカメムシ	
				10	ウズラカメムシ	
				11	クロスジヒゲナガカメムシ	

バッタ類				1	コオロギ	5種
				2	ショウリョウバッタ♂♀	
				3	トノサマバッタ	
				4	マダラスズ	
				5	バッタ類	
トンボ類				1	コノシメトンボ♀	5種
				2	ハグロトンボ	
				3	マユタテアカネ♀	
				4	シオカラトンボ♂♀	
				5	ミヤマアカネ	
カマキリ類	1	カマキリ(幼虫)	1種	1	ハラビロカマキリ	2種
				2	カマキリ	
アミメカゲロウ類				1	クサカゲロウ(幼虫・成虫)	2種
				2	アミメカゲロウ類	
ゴキブリ類				1	ヒメクロゴキブリ	1種
甲殻類				1	ダンゴムシ	1種
クモ類				1	ハエトリグモ類	4種
				2	アシナガグモ類	
				3	カニクモ類	
				4	アリクモ類	
合計	7類 21種		21種	12類 47種		47種

● 西府崖線野鳥調査結果 (調査概要は93ページ)

番号	科名	鳥名	令和6年1月13日		
			直視認	鳴き声	確認
1	カモ科	カルガモ			
2	ハト科	キジバト	○		○
3	タカ科	トビ			
4	モズ科	モズ			
5	カラス科	オナガ			
		ハシボソガラス	○		○
		ハシブトガラス	○		○
6	シジュウカラ科	シジュウカラ	○		○
7	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○		○
8	エナガ科	エナガ	○		○
9	メジロ科	メジロ	○		○
10	ムクドリ科	ムクドリ	○		○
11	ヒタキ科	ツグミ	○		○
		ジョウビタキ	○		○
12	スズメ科	スズメ			
13	セキレイ科	ハクセキレイ	○		○
		キセキレイ	○		○
14	アトリ科	カワラヒワ			
		シメ	○		○
15	ホオジロ科	アオジ	○		○

※他直視/外来種:カワラバト

(イ) 西府町湧水調査

調査期間: 令和5年4月～令和6年3月(通年)

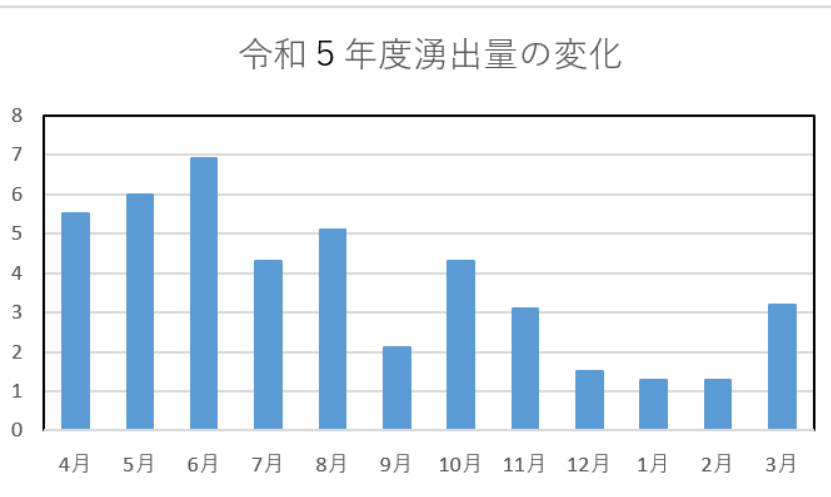
調査場所: 西府町湧水

参加人数: 延べ 33名

調査内容: 湧水量、水質の通年データ測定調査

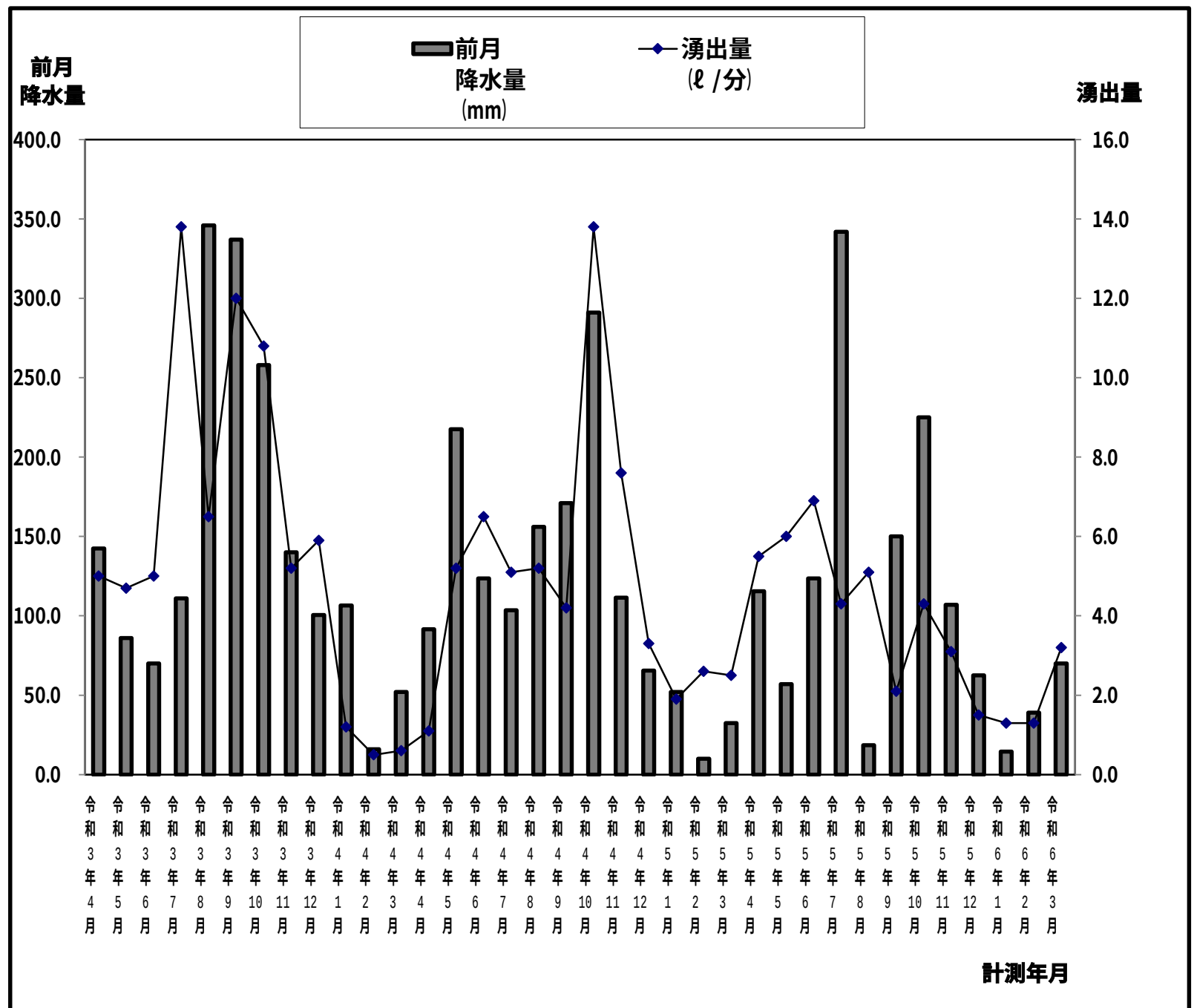
調査結果

西府町湧水の湧出量	
計測月	湧出量 (ℓ/分)
4月	5.5
5月	6.0
6月	6.9
7月	4.3
8月	5.1
9月	2.1
10月	4.3
11月	3.1
12月	1.5
1月	1.3
2月	1.3
3月	3.2



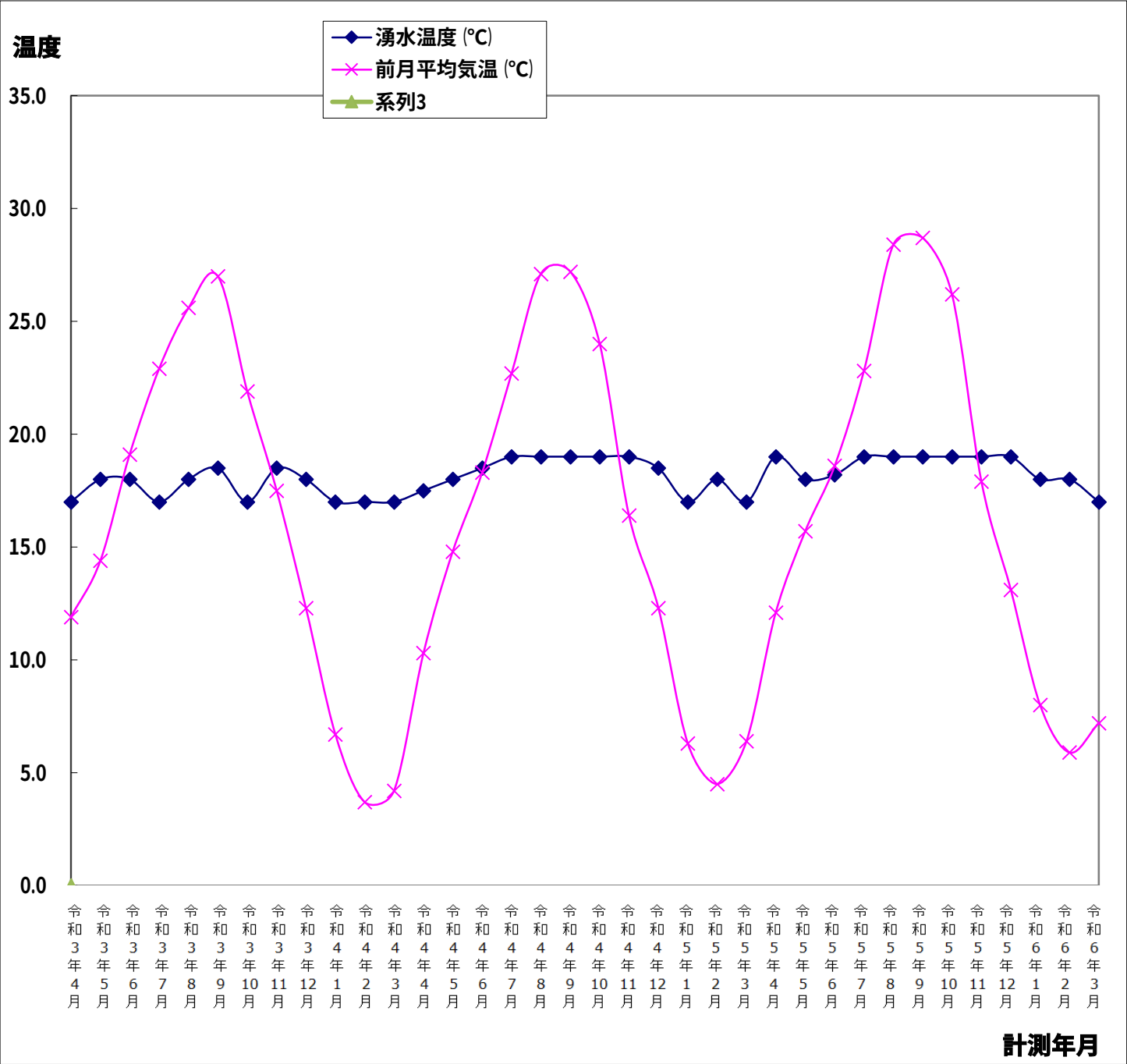
●湧出量と前月降水量（経年変化）

測定年月	湧出量 (ℓ / 分)	前月 降水量 (mm)
令和3年4月	5.0	142.5
令和3年5月	4.7	86.0
令和3年6月	5.0	70.0
令和3年7月	13.8	111.0
令和3年8月	6.5	346.0
令和3年9月	12.0	337.0
令和3年10月	10.8	258.0
令和3年11月	5.2	140.0
令和3年12月	5.9	100.5
令和4年1月	1.2	106.5
令和4年2月	0.5	16.0
令和4年3月	0.6	52.0
令和4年4月	1.1	91.5
令和4年5月	5.2	217.5
令和4年6月	6.5	123.5
令和4年7月	5.1	103.5
令和4年8月	5.2	156.0
令和4年9月	4.2	171.0
令和4年10月	13.8	291.0
令和4年11月	7.6	111.5
令和4年12月	3.3	65.5
令和5年1月	1.9	52.0
令和5年2月	2.6	10.0
令和5年3月	2.5	32.5
令和5年4月	5.5	115.5
令和5年5月	6.0	57.0
令和5年6月	6.9	123.5
令和5年7月	4.3	342.0
令和5年8月	5.1	18.5
令和5年9月	2.1	150.0
令和5年10月	4.3	225.0
令和5年11月	3.1	107.0
令和5年12月	1.5	62.5
令和6年1月	1.3	14.5
令和6年2月	1.3	39.0
令和6年3月	3.2	70.0



●湧水温度と前月平均気温 (経年変化)

計測年月	湧水温度 (°C)	前月平均 気温 (°C)
令和3年4月	17.0	11.9
令和3年5月	18.0	14.4
令和3年6月	18.0	19.1
令和3年7月	17.0	22.9
令和3年8月	18.0	25.6
令和3年9月	18.5	27.0
令和3年10月	17.0	21.9
令和3年11月	18.5	17.5
令和3年12月	18.0	12.3
令和4年1月	17.0	6.7
令和4年2月	17.0	3.7
令和4年3月	17.0	4.2
令和4年4月	17.5	10.3
令和4年5月	18.0	14.8
令和4年6月	18.5	18.3
令和4年7月	19.0	22.7
令和4年8月	19.0	27.1
令和4年9月	19.0	27.2
令和4年10月	19.0	24.0
令和4年11月	19.0	16.4
令和4年12月	18.5	12.3
令和5年1月	17.0	6.3
令和5年2月	18.0	4.5
令和5年3月	17.0	6.4
令和5年4月	19.0	12.1
令和5年5月	18.0	15.7
令和5年6月	18.2	18.6
令和5年7月	19.0	22.8
令和5年8月	19.0	28.4
令和5年9月	19.0	28.7
令和5年10月	19.0	26.2
令和5年11月	19.0	17.9
令和5年12月	19.0	13.1
令和6年1月	18.0	8.0
令和6年2月	18.0	5.9
令和6年3月	17.0	7.2



(ウ) 多摩川名人をめざそう ※水域自然環境(多摩川) 調査

実施期間:令和5年5月～令和6年2月 計6回

実施場所:多摩川関戸橋とその周辺

参加人数:延べ119名

調査内容:多摩川の生物調査、関戸橋架替工事の状況確認など

(エ) 大気汚染 (NO₂) の調査

調査期間:令和5年6月～令和6年3月

NO₂調査(カプセル方式):6月、9月、12月、3月 計4回

参加人数:延べ30名

調査内容:カプセル方式で市内20か所の交差点付近の濃度を測定

また、交差点の車の通過台数は、因果関係が確認できず中止中

『天谷式カプセル』によるNO₂測定結果経年表(測定者:府中かんきょう市民の会)

カプセル №	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	測定結果(ppm)				
			元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
1	栄町3-8 府中街道・学園通り 刑務所角	6	0.022	0.016	0.022	0.013	0.013
		9	0.028	0.013	0.035	0.022	0.025
		12	0.019	0.032	0.025	0.025	0.047
		3	-	0.019	0.022	0.015	0.022
2	若松町4-8 新小金井街道・美術館通り 明大グランド西	6	0.019	0.016	0.013	0.014	0.014
		9	0.032	0.016	0.022	0.016	0.022
		12	0.019	0.035	0.028	0.025	0.050
		3	-	0.019	-	0.022	0.019
3	若松町2-12 新小金井街道・甲州街道 若松町二	6	0.028	0.016	-	0.013	0.013
		9	0.035	0.022	0.028	0.025	0.013
		12	-	0.047	0.022	0.013	0.016
		3	-	-	-	0.025	0.035
4	緑町1-1 小金井街道・甲州街道 小金井街道入口	6	-	0.022	0.019	-	0.014
		9	0.022	0.022	-	0.017	0.019
		12	-	0.050	0.019	0.025	0.032
		3	-	0.025	-	0.022	0.032
5	栄町1-4 国分寺街道・東八 栄町交番前	6	0.019	0.022	0.013	0.013	0.013
		9	0.022	0.016	0.028	0.025	0.025
		12	0.025	0.044	0.032	0.025	0.032
		3	-	0.025	-	0.019	0.016
6	白糸台3-40 朝日町通り・甲州街道 白糸台三	6	0.041	0.019	0.019	0.019	0.019
		9	0.038	0.019	0.032	0.019	0.044
		12	0.019	0.057	0.019	0.019	0.016
		3	-	0.025	0.025	0.019	0.038
7	押立町1-39 白糸台通り・しみず下通り 車返団地	6	0.038	0.019	0.016	0.011	0.011
		9	0.032	0.016	0.028	0.016	0.025
		12	0.013	0.054	0.022	0.019	0.041
		3	-	0.019	-	0.019	0.019
8	是政5-18 府中街道・多摩川通り 是政橋北	6	0.013	0.022	0.006	0.011	0.011
		9	0.019	0.013	0.028	0.025	0.022
		12	0.016	0.050	0.028	0.015	0.044
		3	-	0.025	-	0.025	0.022

カプセル №	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	測定結果 (ppm)				
			元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
9	寿町3-1 府中街道・甲州街道 寿町三	6	0.038	0.019	0.032	-	0.014
		9	0.044	0.025	0.028	0.030	0.035
		12	0.025	0.050	0.022	0.022	0.038
		3	-	0.032	0.032	0.025	0.032
10	住吉町4-10 鎌倉街道・四谷通り 中河原駅北	6	0.022	0.022	0.006	0.008	0.008
		9	0.038	0.025	0.022	0.028	0.028
		12	0.022	0.047	0.032	0.022	0.028
		3	-	0.025	0.032	0.013	0.041
11	日野バイパス・甲州街道 国立インター入口	6	0.032	0.022	0.019	0.018	0.018
		9	0.044	0.025	0.028	0.032	0.035
		12	0.028	0.057	0.016	0.022	0.050
		3	-	0.028	0.028	0.025	0.032
12	本宿町2-22 新府中街道・甲州街道 本宿交番前	6	0.025	0.035	0.016	0.016	0.016
		9	0.054	0.025	0.028	0.035	0.035
		12	0.038	0.054	0.041	0.032	0.054
		3	-	0.035	0.028	0.025	0.032
13	西原町1-17 東八・新府中街道 西原町一	6	0.047	0.032	0.013	0.016	0.016
		9	0.063	0.032	0.025	0.035	0.050
		12	0.044	0.054	0.038	0.032	0.054
		3	-	0.038	0.028	0.019	0.038
14	浅間山北側住宅	6	0.013	0.016	0.003	0.006	0.006
		9	0.013	0.013	0.019	0.014	0.022
		12	0.016	0.032	0.009	0.019	0.025
		3	-	0.013	-	0.009	0.013
15	清水が丘2-49 新小金井街道・清水下通り 清水が丘二丁目	6	0.019	0.019	0.006	-	0.014
		9	0.019	0.006	0.028	0.019	0.025
		12	0.019	0.032	0.022	0.013	0.047
		3	-	0.022	-	0.025	0.028
16	本宿町1-51 新府中街道 本宿トンネル内	6	0.044	0.041	0.063	0.020	0.020
		9	0.069	0.032	0.041	0.054	0.044
		12	0.085	0.063	0.069	0.047	0.057
		3	-	0.060	0.047	0.044	0.047
17	住吉町2-30 鎌倉街道・多摩川通り 関戸橋北	6	0.016	0.025	0.038	0.019	0.019
		9	0.032	0.025	0.032	0.030	0.032
		12	0.025	0.050	0.022	0.028	0.063
		3	-	0.032	0.032	0.028	0.038
18	四谷3-40 野猿街道・いずみ大通り 四谷体育館東	6	-	0.022	0.009	0.006	0.006
		9	0.041	0.022	0.028	0.032	0.032
		12	0.032	0.044	0.019	0.019	0.047
		3	-	0.028	0.028	0.028	0.032
19	宮西町2-13 府中街道・旧甲州街道 府中市役所前	6	0.019	0.022	0.013	0.014	0.014
		9	0.032	0.028	0.032	0.038	0.032
		12	0.025	0.038	0.025	0.019	0.038
		3	-	0.032	0.035	0.022	0.041
20	武蔵台3-5 新府中街道・多喜窪通り (根岸病院北西角)	6	0.025	0.016	0.006	-	0.014
		9	0.032	0.025	0.032	0.025	0.032
		12	0.032	0.035	0.022	0.016	0.038
		3	-	0.025	-	0.022	0.025

※ 観測地点については見直しを行い20箇所に整理した。各観測地点の場所に変更はない。

(3) 環境啓発事業

● 府中環境まつり

「府中環境まつり」は、効果的かつ総合的に環境の保全に関する理解を深めていただくため、これまで開催していた「グリーンフェスティバル」、「環境フェスタ」、「リサイクルフェスタ」を統合したイベントです。

地球温暖化防止、自然保護、資源循環など、環境について楽しみながら学び考えることができるイベントとして開催しています。

年度	日 時	会場	内 容	来場者数 参加団体数
令和 5	6月4日(日) 10:00~15:00	府中公園	市民団体・事業者・学校等の出店による環境への取組み紹介、エコカー展示、ゴーヤ・アサガオの苗配布による緑のカーテン普及啓発、木の実細工や鳥の巣箱作り等の自然体験や工作、フリーマーケット、ステージイベント など	11,000人 (延べ人数)

● 環境啓発ポスターコンクール

市民の環境への意識高揚を図るため、市内小中学校児童及び生徒を中心にポスターコンクールを実施しました。

○表彰式

日時:令和5年12月14日(木)

会場:おもや4階 第1・第2特別会議室

応募作品数	92
入賞作品数	12

最優秀賞

渡邊 真尋さん(中学1年生)

2 環境保全活動センター

(1) 設置の経緯

府中市環境保全活動センターの設置等については、平成15年に策定された府中市環境基本計画に初めて明記されたほか、平成18年3月には、府中市環境基本計画に基づき、市民や事業者及び行政が相互に意見交換し、環境基本計画の進捗状況や計画を推進するための方策について検討するため、府中市環境推進協議会が設置されました。

同協議会ではこの中で、市民や事業者及び行政が、環境基本計画及び環境行動指針を推進するとともに、各主体が環境基本計画を実践するための枠組みとして、環境活動の場を設置する必要があると、平成20年3月に市長へ「環境保全活動の支援センターのあり方について」提言しております。

また、平成23年3月に策定された府中市地球温暖化対策地域推進計画の中でも、個別施策等各般にわたり活動センターの役割が期待されていました。

この流れを受け、平成23年度予算に活動センター設立に係る経費を計上するとともに、府中駅北第2庁舎7階に約20㎡の事務室を確保した後、同年7月に活動センターの管理運営規則及び運営委員会に関する要綱等を協議するため、「府中市環境保全活動センター開設準備に関する懇談会」が設置されました。

こうした中で、平成23年12月1日に府中市環境保全活動センターを開設し、環境保全に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、市民等が行う環境保全活動の支援を開始しました。

(2) 令和5年度の動き

センター事業を検討するための組織である検討調整会を12回開催する中で、センターの役割、検討調整会自体の機能などについて整理・検討を行いました。

さらに、庁舎移転に伴いセンターのスペースが無くなることから、前年度より検討を進めていたセンターのホームページのリニューアル作業を行い3月に公開しました。同時に、新しいホームページを活用し、環境に係る様々な情報発信を行っていくための運用方法に関する検討を始めました。また、会報「かんきょう活動センターだより」を発行し、市民への環境情報の提供とセンターの活動内容の周知に努めました。

この外、新たな事業として明星学苑中学校の生徒向けに環境学習事業を企画しました。東京農工大学のサークル「ごみダイエットNOKO」との協働により、大学生によるキャンパスガイドツアー及び環境をテーマにしたワークショップの形式で実施しました。

なお、センターの事業活動を担う令和5年度末のサポーター登録数は、個人81人、事業者等が14団体となっております。

(3) 令和5年度活動実績

事業等	参加者数等	実施月
来館者数	132人	8月9日まで
空間放射線量測定器の貸出し	0件	通年
「かんきょう活動センターだより」の発行	4回	4月、8月、11月、2月
府中かんきょう塾	131人	5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月
親子かんきょう塾	179人	6月、8月、10月、12月、2月、3月
打ち水日和	122人	7月
市民環境セミナー	65人	2月

3 地球温暖化対策

地球温暖化とは、温室効果ガスの過度な蓄積により、地球の平均気温が長期的に上昇することです。温室効果ガスが全くないと今の地球の気温は維持できませんが、過度に蓄積すると気温が上昇し過ぎ、地球の気候を大きく変化させ、自然生態系などに深刻な問題を与えます。

気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）では、先進国と途上国を含むすべての国が参加し、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑制すると同時に、気候変動に脆弱な島しょ国に配慮し、1.5℃未満に抑えるよう努力するという目標を明記したパリ協定が採択されました。日本においても、令和2年10月の第203回臨時国会の所信表明演説において、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、令和3年4月の米国主催による気候サミットで「2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減すること」が表明されました。

このような中、府中市でも脱炭素社会に向けた取組をさらに推進するため、令和3年11月に2050年CO2（二酸化炭素）実質排出ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明しました。また、令和3年12月には、市内の大規模事業者や大学と「府中市における2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた協働に関する地域協定」を締結しました。

令和4年度には、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を包含する、第3次府中市環境基本計画を策定し、計画目標として「温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比48%削減」、長期目標として「2050年に温室効果ガス排出実質ゼロ」を目標に掲げています。

また同年、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）として、第5次府中市職員エコ・アクションプランを策定し、府中市役所における事務事業に係る温室効果ガス排出量削減等を図るため、府中市役所が排出する温室効果ガスの削減目標等を定め、庁内の省エネ・省資源等に関わる推進すべき取組を示すことにより、温室効果ガス排出量の削減を図っています。

さらに、令和6年3月には、新たに民間事業者と「ゼロカーボンシティ実現に関する連携協定」を締結し、低炭素エネルギーの調達や電力量の可視化によるエネルギー消費の最適化などを推進しています。

用語説明

※ 温室効果ガス

太陽から地球に降り注ぐ（波長の短い）光は素通りさせますが、地球から宇宙に逃げる（波長の長い）赤外線（熱線）は吸収するため、地球の温度を上昇させる働きのあるガスのことをいいます。

京都議定書及び地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の7物質が指定されています。

※ ISO

「国際標準化機構（International Organization for Standardization）」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織（NGO）で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

※ ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル（計画→実施→点検→見直し→計画のサイクル）を回すことで環境負荷低減行動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。

(1) エコハウス設備設置助成事業

地球温暖化防止対策の一環として、個人住宅の環境に配慮した住宅設備設置費用の一部を助成することにより、自然エネルギーの有効活用の促進をするため、平成17年11月9日付で「府中市エコハウス設備設置助成金交付要綱」を制定し、実施しています。 (令和5年度実施概要)

対 象 設 備	補 助 率
太陽光発電システム	1kW あたり2万円で上限10万円
太陽熱高度利用システム	2万円
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	1万5千円
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム	2万5千円
雨水浸透施設	標準工事費又は設置に要する費用を比較して少ない方の5割で上限10万円
雨水貯留槽	本体と架台の購入に要する費用の1/4で上限1万円
家庭用蓄電池システム	1kWh あたり2万円で上限10万円
既設窓の断熱改修	設置に要する費用の1/5で上限10万円

年度別交付件数推移

対象設備	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	計
住宅用太陽光発電システム	9	17	6	17	44	89	173	253	163	140	112	75	72	61	40	43	45	76	242	1,677
太陽熱高度利用システム	0	0	3	0	3	5	2	2	3	5	4	5	0	0	2	0	0	0	1	35
潜熱回収型給湯器	10	126	90	47	17	43														333
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	6	56	38	38	22	54	20	12	33	28	33	28	27	21	15	11	12	25	56	535
ガスエンジン給湯器	0	0	5	8	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0						17
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム	0	0	0	0	0	1	33	36	107	135	183	168	142	167	51	47	38	23	30	1,161
雨水浸透施設	1	3	0	0	0	3	3	0	1	0	2	3	2	2	4	0	1	1	0	26
雨水貯留槽	2	0	2	0	3	4	15	12	13	6	5	3	5	3	0	1	2	3	2	81
家庭用蓄電池システム															52	59	62	98	340	611
既設窓の断熱改修															23	20	16	21	67	147

対象設備ごとのCO₂排出削減量

対 象 設 備	CO ₂ 排出削減量 (kg-CO ₂ /年)	
	令和 5 年度	平成17年度から令和5年度までの累積
住宅用太陽光発電システム	453,845	2,837,498
太陽熱高度利用システム	420	14,700
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	28,000	267,500
家庭用燃料電池 コージェネレーションシステム	34,500	1,335,150
既設窓の断熱改修	143,647	313,721
合 計	660,412	4,768,569

住宅用太陽光発電システムのCO₂排出削減量算定における排出係数:0.382(東京都環境局「再エネクレジット算定ガイドライン」より)

※ 参考資料

「東京ソーラー屋根台帳」(ポテンシャルのシミュレーション方法)、東京都環境局「再エネクレジット算定ガイドライン」、JISC8907:2005「太陽光発電システムの発電電力量推定方法」、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)日射量データベース閲覧システム、環境省「ヒートアイランド現象による環境影響等に関する調査業務報告書」

なお、平成17年度から令和5年度までの累積CO₂排出削減量である4,769,486kg-CO₂/年は、一般家庭1世帯あたりの年間CO₂排出量が約4,150kg-CO₂であるため、約1,150世帯分のCO₂排出量に相当します。

※ 参考資料

温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ(1990～2018年度) 確報値」

(2) カーボンオフセット

ア カーボンオフセットとは

地球温暖化は、人間の諸活動の中で排出される二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスによって引き起こされ、人類の生存基盤や自然の生態系にも悪影響を及ぼすに至りました。そこで、温室効果ガスの排出量を減らすための国際的な取組みが行われ、平成9年(1997年)の京都議定書では、我が国に6%の削減の目標が定められました。今、国を挙げての低炭素社会の構築に向けた行動・実践が求められています。

このような中で、注目を集めているのが、「カーボンオフセット」です。カーボンとは「二酸化炭素」、オフセットは「埋め合わせる」という意味を表わします。まず、諸活動の中で排出をしている二酸化炭素などの温室効果ガスの量を認識(見える化)し、削減努力を行うことが必要です。そして、どうしても削減できない部分を、他の場所でのクリーンエネルギーの導入や二酸化炭素を吸収する森林整備など、排出削減、吸収プロジェクトに投資を行い、それによってもたらされる温室効果ガスの排出削減量や二酸化炭素吸収量で、削減しきれなかった部分を埋め合わせる、これがカーボンオフセットです。

イ 姉妹都市佐久穂町とのカーボンオフセット事業の実施状況

平成23年7月26日に姉妹都市である長野県佐久穂町と締結した「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」、「長野県の森林の里親促進事業森林整備協定」に基づき、平成27年度までの5年間、市の家庭ごみなどの市指定有料袋の焼却をはじめとする市民

生活から排出されるCO₂相当量の一部を、佐久穂町において森林整備を実施することで相殺させるカーボンオフセット事業を行いました。今後もカーボンオフセット事業を継続するため、平成28年3月7日に第2期協定を締結しました。

令和5年度については、新たに佐久穂町の町有林21.27ヘクタールを植林し、二酸化炭素吸収量は14.7t-CO₂/年となりました。また、平成30年度から令和4年度までに間伐・植林した104.15ヘクタールについて、令和5年度も416.8t-CO₂/年の二酸化炭素吸収量が認められたため、合わせて431.5t-CO₂/年の二酸化炭素吸収量について、令和6年3月19日に長野県から「森林の里親促進事業」CO₂吸収量認証書を受け取りました。

森林整備面積及び二酸化炭素吸収量

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
森林整備面積 (ha)	21.60	20.4	21.01	20.70	23.01	19.03	21.27
二酸化炭素吸収量対象面積 (ha)	98.39	75.41	76.10	80.32	83.71	104.15	125.42
二酸化炭素吸収量 (t-CO ₂ /年)	276.5	221.4	186.0	110.8	84.2	416.8	431.5

(3) 森林保全体験学習事業

地球温暖化防止対策の一環として、森林を整備することの大切さを知ってもらうため、姉妹都市佐久穂町で、市内の小中学生を対象とした森林保全体験学習事業を平成23年度から実施しています。(※令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)

府中市の温室効果ガス排出量の推移

[単位:1000t-CO2eq]

ガス種	基準年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
二酸化炭素 CO ₂	917	917	960	986	957	1,023	981	981	1,034	1,030	1,044	1,064	1,052	1,179	1,222	1,111	1,103	1,024	1,118	1,084	1,034	1,041	1,093	1,156	1,145	1,085	1,024	997	1,005	979	929	905	940
メタン CH ₄	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一酸化二窒素 N ₂ O	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	8	8	8	8	7	7	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
ハイドロフルオロカーボン類 HFC ₅	3						3	5	6	7	7	8	9	10	10	10	10	8	23	27	31	34	38	42	57	62	69	75	85	89	93	96	100
パーフルオロカーボン類 PFC ₅	2						2	2	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
六ふっ化硫黄 SF ₆	2						2	2	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三ふっ化窒素 NF ₃	0																								0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	936	928	972	998	968	1,035	1,000	1,002	1,057	1,053	1,065	1,084	1,073	1,200	1,242	1,131	1,123	1,042	1,150	1,120	1,073	1,083	1,139	1,207	1,210	1,155	1,102	1,079	1,098	1,076	1,030	1,010	1,047

※ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、及び六ふっ化硫黄については、基準年度を1995年としているため、1994年以前の値は算定していない。

※三ふっ化窒素については、2013年実績から算定の対象となったため、2012年以前の値は算定していない。(基準年度は1995年)

部門別二酸化炭素排出量の推移

[単位:1000t-CO₂]

部門		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	農業・水産業	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2
	建設業	43	41	38	39	48	28	27	37	21	20	18	19	39	23	15	8	10	33	17	19	24	25	21	24	19	12	13	20	15	9	13	12
	製造業	230	234	224	192	217	204	202	219	222	234	218	212	213	211	182	152	142	152	152	137	152	178	202	206	195	174	185	172	166	159	151	156
	産業部門計	274	277	264	233	268	234	231	259	246	257	239	234	255	237	200	163	155	189	172	158	179	206	226	233	217	188	201	195	184	170	166	170
	家庭	212	223	231	231	236	236	226	222	224	235	244	243	276	304	276	299	271	312	301	296	310	334	362	363	342	325	324	333	312	303	315	321
	業務	176	185	201	203	221	215	212	223	226	229	255	249	306	362	331	380	329	373	370	343	334	336	360	346	325	317	287	297	305	277	261	278
	民生部門計	388	407	431	434	457	451	438	446	450	464	499	492	583	665	608	679	600	685	672	640	643	670	722	709	667	643	611	630	616	580	576	599
	自動車	232	251	264	264	272	274	288	301	302	296	300	297	300	293	279	235	230	217	208	208	200	194	183	177	177	169	159	157	155	155	142	147
	鉄道	12	13	14	14	15	14	13	13	12	12	12	12	14	17	14	14	13	16	15	14	14	17	20	20	19	18	18	18	17	17	16	16
	運輸部門計	244	264	278	278	287	288	301	314	314	308	312	309	314	309	294	249	243	233	223	222	214	211	202	196	195	188	177	175	172	172	159	164
廃棄物部門		12	12	13	12	12	8	11	16	20	15	14	16	27	10	10	12	26	11	17	14	5	6	5	7	5	6	8	5	7	7	5	7
合計		917	960	986	957	1,023	981	981	1,034	1,030	1,044	1,064	1,052	1,179	1,222	1,111	1,103	1,024	1,118	1,084	1,034	1,041	1,093	1,156	1,145	1,085	1,024	997	1,005	979	929	905	940